

**(1) 病院事業運営の健全化**

<b>方向性</b>	<p>病院経営の健全化を図るためには、収益の拡大及び経費の抑制による経営の効率化が必要不可欠であることから、これまでの取り組みに加え、様々な視点から検証・検討し、新たな策を講じるなど、持続可能な経営基盤を構築するための取り組みを進めます。</p>
<b>取り組み</b>	<p><b>1. 地域連携の強化</b></p> <p>地域の診療所との関係を密にし、急性期患者を増加させることで、公立病院の役割を果たすとともに、収益の向上を図るため、地域連携を強化します。</p> <p>(1) 地域の診療所への訪問について、計画的かつ効果的に行うよう訪問計画を策定するとともに、医師だけでなく看護師や医療技術員も訪問に当たるほか、訪問先を拡充するなど、これまで以上に積極的に紹介患者の獲得に向けた訪問を行います。</p> <p>(2) 「地域医療支援病院」の承認に向け、手続きを進めるとともに、さらなる紹介率・逆紹介率の向上を図ります。</p> <p>    《目標値》     紹介率の向上：55%以上</p> <p>(3) 中核病院と地域の医療機関が患者情報を共有できる「地域医療連携システム」について、利用する診療所の増加に努めます。</p> <p><b>2. 救急搬送患者の積極的な受け入れ</b></p> <p>救急医療及び小児救急医療が、本院の重要な役割であることを踏まえ、救急搬送患者の受け入れにこれまで以上に積極的に取り組みます。</p> <p><b>3. 医師の確保による収益力の向上</b></p> <p>収益向上には診療体制の充実が必要不可欠であることから、全国的に医師の人材が不足する現状も踏まえ、これまで以上に積極的な医師の確保に努めます。</p> <p><b>4. 院内のベッドコントロールの体制確立による病床利用率の向上</b></p> <p>ベッドコントロールを行い、より多くの患者が効率的に入院できる体制を確立することで、収益向上のための目標として取り組んでいる、病床利用率の向上を図ります。</p> <p>    《目標値》     病床利用率の向上：85%以上</p>

## 5. 入退院支援センターの導入及び地域包括ケア病棟の検討

平成 30 年 4 月の診療報酬改定を踏まえ、入院時から退院まで、一括して切れ目なく患者サポートを行うための組織として、「入退院支援センター」を導入します。また、病棟により異なった機能を持たせることで、患者の在宅復帰支援を行いつつ収益の向上が見込める「地域包括ケア病棟」の導入に向けた検討を進めます。

## 6. 未収金回収の強化

これまでの取り組みにより対象となる未収患者数も減少していることから、より集中して督促業務を行なうなど、未収金の回収に向けた取り組みをさらに強化します。

## 7. 外部コンサルタントの導入

外部のコンサルタントを導入し、専門的な知識や豊富な経験に基づく、多面的かつ効果的な経営改善策の立案や実行支援を受けながら、経営改善の取り組みを進めます。

### 9 月末の 進捗状況 【〇】

#### 1. 地域連携の強化

- (1) 訪問については、9 月末時点で 587 件の病院や診療所を訪問しました。訪問には医療相談連携室職員だけでなく医師、看護師、放射線技師なども同行し、その結果、今年度上半期の新規紹介患者数（紹介状を持った初診患者の数）が、昨年度と比較して 11.2% の増加となりました。
- (2) 地域医療支援病院については承認手続きを進めましたが、紹介状の定義が厳格化されたことなどにより、要件となる紹介率 50% を満たすことができなかった事から、正式な申請手続きには至りませんでした。
- (3) 他の中核病院とも連携を図りながら、地域の診療所等への広報活動を実施しています。

#### 2. 救急搬送患者の積極的な受け入れ

救急外来の受け入れ体制の見直しを行った結果、今年度の上半期は、昨年度の上半期と比べ、応需率が 2.7 ポイント上昇し、応需件数も 1.23 倍（444 件の増加）と上昇しています。

#### 3. 医師の確保による収益力の向上

医師を増員し、診療体制の強化を図るため、病院事業管理者や病院長が主となり、大阪医大に対して強く要望していますが、現段階では 2 名の増員に留まっていることから、今後も引き続き、大阪医大に積極的に要望し、必要数の医師の確保に努めます。

#### 4. 院内のベッドコントロールの体制確立による病床利用率の向上

効率的な入院を司るベッドコントロール体制を4月に発足しました。各診療科外来、救急外来のほか、地域連携を通じた他医療機関からの入院について、全8病棟を横断的にコントロールし、病床利用率が昨年度上半期71.1%に対して今年度上半期77.5%と向上しましたが、目標値の85%には至っていない状況です。

#### 5. 入退院支援センターの導入及び地域包括ケア病棟の検討

入退院支援センターについては、現在ハード面等の課題を検証しつつ、導入に向けて準備を進めています。また、地域包括ケア病棟については、本院において導入する場合の効果などを含めた必要性について、検証しています。

#### 6. 未収金回収の強化

積極的な電話連絡や個別面談を実施したことにより、未収金の対象者数は、昨年度との比較では9月末現在の時点で24件分減少し、回収実績においても、9,202,263円多く回収できている状況です。

#### 7. 外部コンサルタントの導入

本院における課題をあぶり出し、経営改善に繋げるため、毎月、医師を含む全管理職員を対象とした会議を実施し、各部局ごとに、他院における状況との比較などを基に、外部コンサルタントからの専門的な視点での意見を受けています。